

1 【重複書誌を作らないための作業を理解する】(テキスト第 3 講「3. 検索の実際」から)

問題:

所蔵登録をするために ISBN で書誌を検索した結果、ヒットが 0 件だった。その次にすべき最も適切なことは何か。

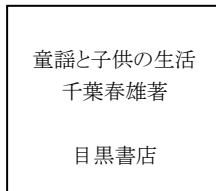
1. 新規に書誌レコードを作成し、そのレコードに所蔵を登録をする。
2. 参照ファイルを指定して ISBN で検索する。
3. しばらく時間をおいてから ISBN で再度検索する。
4. 別の検索キーで検索する。

解答: _____

2 【検索用インデクスと検索キーについて理解する】(テキスト第 3 講「5. 検索キー」から)

問題:

次の図書を総合目録データベースで検索する場合、該当書誌がヒットしない検索キーはどれか。



1. TITLE=「童謡 子供 生活」
2. TITLE=「童謡」
AUTH=「千葉」
3. TITLE=「童謡と子供」
4. TITLE=「童謡と子供*」

解答: _____

3 【検索上の注意点を理解する】(テキスト第 3 講「6. 検索上の注意点」から)

問題:

検索上の注意点のうち、正しいものはどれか。

1. 階層を持つ書誌レコードの場合、親書誌のタイトルと子書誌のタイトルを同時に検索キーとして入力しても、総合目録データベース内の求めるレコードにはヒットしない。
2. どのフィールドでも検索キーの末尾に「*」を付ければ前方一致検索ができる。
3. どのフィールドでも、複数の検索キーを入力して検索することができる。
4. 漢字の検索用インデクスの切り出しは、ヨミの分かちとは関係がない。

解答: _____

4 【登録の種類を理解する】(テキスト第 4 講「1. 登録の種類」から)

問題:

次の文章の空欄に当てはまる組み合わせのうち、正しいものはどれか。

目録システムでは、総合目録データベースに求める書誌レコードがあれば【 (1) 】, なければ【 (2) 】する。

1. (1) 検索し (2) データ入力
2. (1) それを用い (2) 新規にレコードを作成
3. (1) 著者名リンクを形成し (2) 再度検索
4. (1) それを流用し (2) 書誌登録

解答: _____

5 【所蔵登録の手順を理解する】(テキスト第 5 講「1. 所蔵登録の手順」から)

問題:

所蔵登録の手順に関する文章について、空欄に当てはまる組み合わせのうち、正しいものはどれか。

手元の資料の情報源から【 (1) 】を検索し、求める書誌レコードがヒットしたら、書誌確認(同定)を行い修正の必要のないことを確認してから【 (2) 】を行う。

1. (1) 参照ファイル (2) 流用入力
2. (1) 総合目録データベース (2) 所蔵登録
3. (1) 総合目録データベース (2) 流用入力
4. (1) 参照ファイル (2) 所蔵登録

解答: _____

6 【総合目録データベースで使用するツール類の概要を理解する】
(テキスト第 1 講「8. マニュアル等」から)

問題:

総合目録データベースの業務で参照すべきマニュアル類のうち、分かち書きやヨミの規則を確認する時に使用する適切なツールはどれか。

1. 目録システム利用マニュアル
2. 目録情報の基準
3. コーディングマニュアル
4. 日本目録規則

解答: _____

7 【書誌流用入力を理解する】 (テキスト第 6 講「1. 書誌流用入力の手順」, 「2. 書誌流用入力の内容」から)	
<p>問題: 参照ファイルの特徴について、正しいものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参照ファイルのレコードは、MARC を総合目録データベースのフィールドに対応するかたちでフォーマット変換したものであり、そのままの形で総合目録データベースに登録することができる。 2. 求めるレコードと参照ファイルのレコードが一致していない場合、流用入力を行ってはならない。 3. 参照ファイルのレコード間にリンク関係は存在していないので、書誌流用入力時に必要に応じてリンク形成を行わなければならない。 4. 一致した参照ファイルがあれば、参照ファイル内で、登録が行える。 	<p>解答: _____</p>
8 【書誌流用入力を理解する】 (テキスト第 6 講「2. 書誌流用入力の内容 2.2. 全体的な注意点」から)	
<p>問題: 次の文章の空欄に当てはまる、最も正しい言葉はどれか。</p> <p>【 (1) 】は、総合目録データベースに同定できる書誌レコードがない場合、参照ファイルでの一致レコード、参照ファイルでの類似レコード、総合目録データベースでの類似レコードなどを利用して、書誌レコード【 (2) 】を効率的に行う方法である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (1) 書誌修正 (2) 修正 2. (1) 書誌新規入力 (2) 作成 3. (1) 参照ファイル検索 (2) 修正 4. (1) 書誌流用入力 (2) 作成 	<p>解答: _____</p>
9 【書誌流用入力を理解する】 (テキスト第 6 講「2. 書誌流用入力の内容」から)	
<p>問題: 参照ファイルからの書誌流用入力を行う際の注意点について、次の文章のうち正しいものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参照ファイルに求める書誌レコードがヒットした場合、それをそのままの形で総合目録データベースに登録すべきである。 2. 参照ファイルの書誌レコードが手元の情報源と合致していれば、総合目録データベースの入力基準は確認する必要はない。 3. 参照ファイルからの書誌流用入力の際、必要に応じて項目の追加はできるが、項目の修正と削除はすることができない。 4. 参照ファイルに求める書誌レコードがヒットした場合、流用し、必要に応じて項目の追加・修正・消去等の作業を行ってから、総合目録データベースに登録する。 	<p>解答: _____</p>

10 【書誌流用入力を理解する】(テキスト第 6 講「2. 書誌流用入力概念」から)

問題:

書誌レコードを登録する際、必ず記述しなければならない(入力レベル = 必須 1) 項目の組み合わせとして正しいのはどれか。

ISBN(国際標準図書番号)
TTLL(本タイトルの言語コード)
TXTL(本文の言語コード)
TR(タイトル及び責任表示に関する事項)
PUB(出版・頒布等に関する事項)
PHYS(形態に関する事項)

1. TTLL, TXTL, TR, PHYS
2. TTLL, TXTL, TR, PUB
3. ISBN, TXTL, TR, PUB
4. TXTL, TR, PUB, PHYS

解答: _____